

第 31 回原状回復対策協議会（9月27日開催）協議結果について

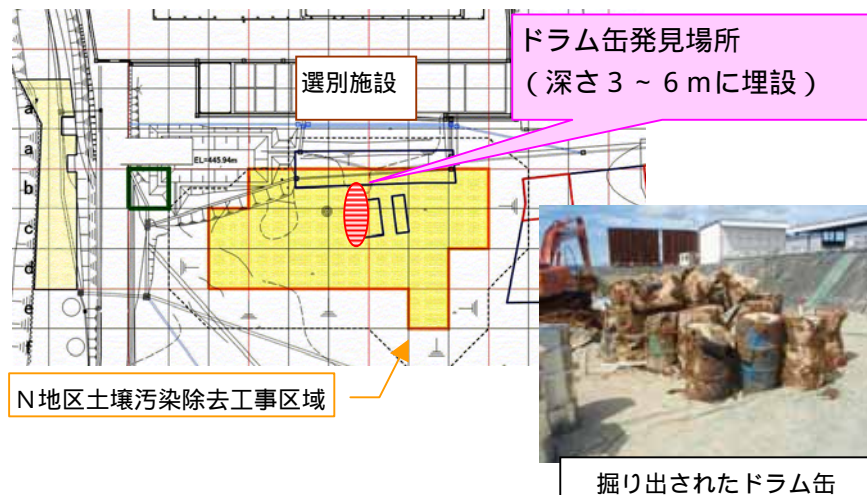
N 地区における土壌の汚染除去対策については、7月17日から地下水より上の汚染区域のホットソイル工法による土壌浄化に着手しました。8月末での掘削土量は10,260m³になります。このうち汚染土と判定した土量は2,040m³あり、生石灰を混合し仮設テント内でVOC（揮発性有機化合物）を揮発させ、汚染が取り除かれたことを確認したうえで仮置きしています。これまでの進捗率は、N地区における掘削土量28,550m³に対し約36%です。



仮設テント内での浄化養生中の汚染土

除去工事区域からは平成12年の調査でドラム缶が確認されていましたが、今回の掘削作業の進捗に伴い新たに337本の廃油入りドラム缶が確認されました。掘り出されたドラム缶については、内容物が漏れないように特殊なドラム缶に入れて場内に安全に保管しています。また、撤去作業中に有害物質の大気拡散を確認するため、風下の敷地境界部で大気中のガス濃度を測定し、環境基準を下回ることを確認しております。掘り出されたドラム缶については内容を分析し、その結果をもとに処理方法を検討します。

なお、協議会において、新規ドラム缶が確認された時点で関係者へ周知すべきとの意見が出されたことから、今後情報共有のあり方を検討します。



ドラム缶撤去作業

廃棄物の撤去状況について（平成20年9月末現在）

表：20年度の月別撤去量（代執行）

	撤去量 (トン)	進捗率 (%)
20年4月	136	0%
20年5月	3,755	9%
20年6月	5,407	21%
20年7月	4,160	30%
20年8月	3,742	38%
20年9月	2,450	44%
合計	19,650	

平成20年度撤去目標量 45,000トン

これまでの撤去実績(H20.9末)



岩手県側の推定総量 256,800トンのうち、58%（累積撤去量 149,239t）を撤去しました。